

令和3年度 当初予算説明資料



令和3年2月
磐田市

目 次

1	令和3年度磐田市予算総括表	1
2	一般会計の概要	
	(1) 目的別予算の状況(款別)	3
	(2) 性質別予算の状況	9
	(3) 一般会計予算額等の推移	16
	(4) 市債・基金残高の推移	17
3	その他の会計の概要	
	(1) 特別会計	19
	(2) 企業会計	21

【参考資料】

	令和3年度予算編成の基本方針	22
--	----------------	----

注)本資料における表及びグラフの各区分ごとの比率や金額は、四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

1. 令和3年度磐田市予算総括表

(単位：千円、%)

会計名称	令和3年度予算額	令和2年度予算額	増減額	伸率
一般会計	67,180,000	66,970,000	210,000	0.3

駐車場事業特別会計	82,383	81,625	758	0.9
国民健康保険事業特別会計	16,885,601	16,682,853	202,748	1.2
後期高齢者医療事業特別会計	2,002,720	1,962,967	39,753	2.0
介護保険事業特別会計	13,399,340	13,012,358	386,982	3.0
広瀬財産区特別会計	198	208	△ 10	△ 4.8
岩室財産区特別会計	77	74	3	4.1
虫生財産区特別会計	204	91	113	124.2
万瀬財産区特別会計	457	482	△ 25	△ 5.2
特別会計合計	32,370,980	31,740,658	630,322	2.0

水道事業会計	収益	収入	3,001,896	3,019,866	△ 17,970	△ 0.6
		支出	2,711,174	2,743,260	△ 32,086	△ 1.2
	資本	収入	624,365	627,480	△ 3,115	△ 0.5
		支出	1,880,735	1,910,550	△ 29,815	△ 1.6
下水道事業会計	収益	収入	6,662,646	6,807,592	△ 144,946	△ 2.1
		支出	6,098,426	6,201,178	△ 102,752	△ 1.7
	資本	収入	1,567,824	1,976,058	△ 408,234	△ 20.7
		支出	3,741,063	4,200,380	△ 459,317	△ 10.9
病院事業会計	収益	収入	18,220,698	17,858,727	361,971	2.0
		支出	18,688,386	18,433,753	254,633	1.4
	資本	収入	2,442,569	2,438,895	3,674	0.2
		支出	3,298,505	3,270,526	27,979	0.9
企業会計合計 (※)		36,418,289	36,759,647	△ 341,358	△ 0.9	

(※) 収益的支出と資本的支出の合計額

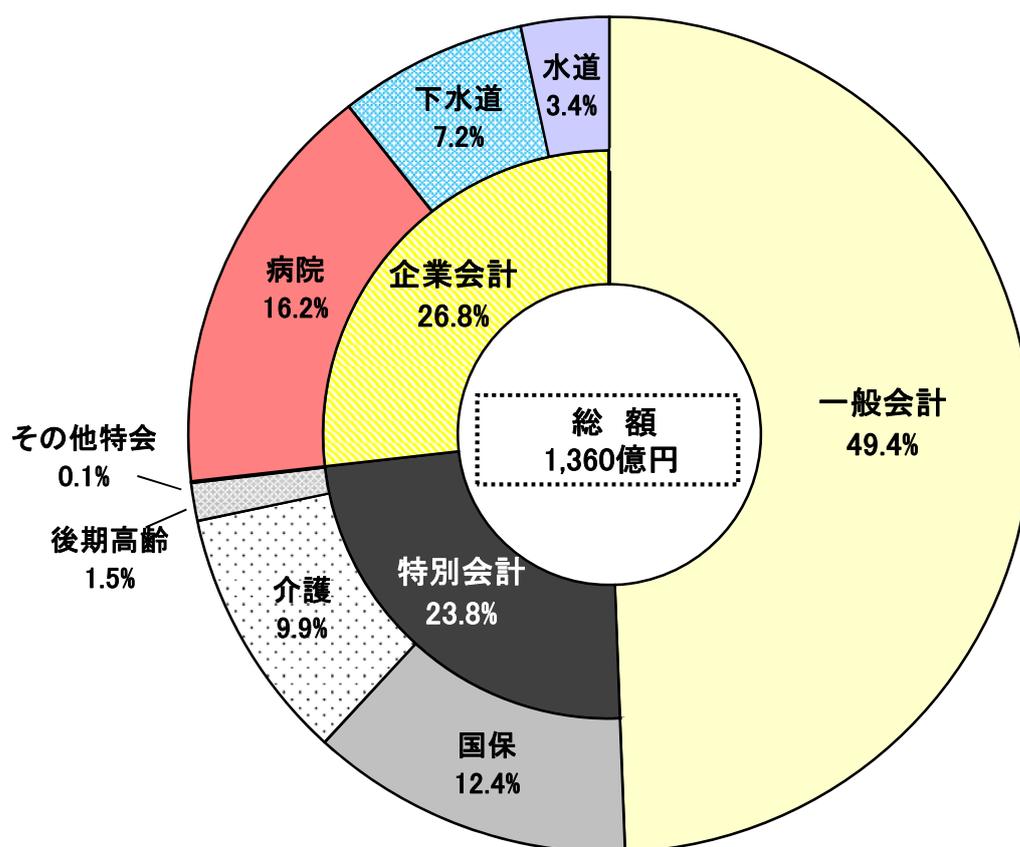
全体合計	135,969,269	135,470,305	498,964	0.4
------	-------------	-------------	---------	-----

【参考】

(単位：千円、%)

会計名称	令和3年度予算額	令和2年度予算額	増減額	伸率
中遠広域事務組合会計	869,628	1,011,590	△ 141,962	△ 14.0
養護老人ホームとよおか管理組合会計	104,648	118,183	△ 13,535	△ 11.5
敷地外四ヶ字財産区特別会計	18,451	18,355	96	0.5

会計別予算額の構成比



予算規模の概要

1 一般会計

前年度比 2億1,000万円、0.3%増の671億8,000万円です。

ながふじ学府小中一体校や今之浦市有地・今之浦公園の整備事業の減額などはあるものの、(仮称)磐田市文化会館の建設工事が最終年度を迎えることにより大幅な増額となったことに加え、障害者等に対する福祉サービスや生活保護費などの扶助費が増額となったこと、クリーンセンターの施設管理に係る長期包括委託の更新やGIGAスクール構想に基づく小中学生1人1台端末の導入に伴う保守管理経費などが増額となったことなどにより、増額となりました。

2 特別会計

前年度比 6億3,032万2千円、2.0%増の323億7,098万円です。

高齢者人口の増などに伴う給付費の増加による介護保険事業特別会計の増額や、1人当たり医療費の増などに伴う給付費の増加による国民健康保険事業特別会計の増額により、特別会計全体では増額となりました。

3 企業会計

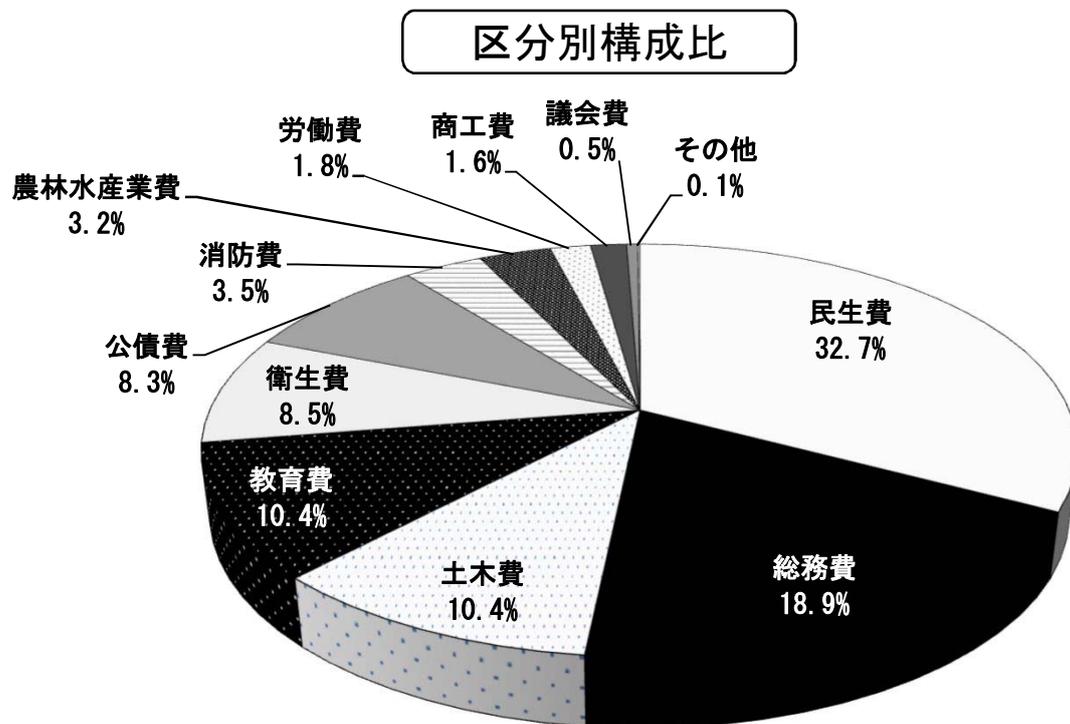
前年度比 3億4,135万8千円、0.9%減の364億1,828万9千円です。

汚水管渠新設工事の減などに伴う下水道事業会計の減額などにより、企業会計全体では減額となりました。

② 歳出

(単位：千円、%)

区 分 (款)	令和3年度		令和2年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
1 議会費	342,819	0.5	330,121	0.5	12,698	3.8
2 総務費	12,668,978	18.9	8,921,276	13.3	3,747,702	42.0
3 民生費	21,993,318	32.7	21,458,594	32.0	534,724	2.5
4 衛生費	5,733,041	8.5	5,665,011	8.5	68,030	1.2
5 労働費	1,194,710	1.8	1,313,513	2.0	△ 118,803	△ 9.0
6 農林水産業費	2,162,210	3.2	2,025,723	3.0	136,487	6.7
7 商工費	1,092,713	1.6	1,514,003	2.3	△ 421,290	△ 27.8
8 土木費	6,958,795	10.4	8,472,802	12.7	△ 1,514,007	△ 17.9
9 消防費	2,379,484	3.5	2,367,808	3.5	11,676	0.5
10 教育費	6,956,762	10.4	9,113,534	13.6	△ 2,156,772	△ 23.7
11 災害復旧費	5	0.0	5	0.0	0	0.0
12 公債費	5,597,165	8.3	5,690,966	8.5	△ 93,801	△ 1.6
13 予備費	100,000	0.1	96,644	0.1	3,356	3.5
歳出合計	67,180,000	100.0	66,970,000	100.0	210,000	0.3



③ 市税の概要

(単位：千円)

税目	令和3年度	構成比(%)	令和2年度	構成比(%)	増減額	伸率(%)
市民税	10,121,086	39.7	11,721,596	42.4	△ 1,600,510	△ 13.7
現年課税分	9,995,799		11,617,332		△ 1,621,533	△ 14.0
滞納繰越分	125,287		104,264		21,023	20.2
個人	8,805,728		9,737,593		△ 931,865	△ 9.6
現年課税分	8,695,851		9,634,720		△ 938,869	△ 9.7
滞納繰越分	109,877		102,873		7,004	6.8
法人	1,315,358		1,984,003		△ 668,645	△ 33.7
現年課税分	1,299,948		1,982,612		△ 682,664	△ 34.4
滞納繰越分	15,410		1,391		14,019	1,007.8
固定資産税	12,461,377	48.8	12,988,739	47.0	△ 527,362	△ 4.1
固定資産税	12,439,924		12,967,124		△ 527,200	△ 4.1
現年課税分	12,255,441		12,911,415		△ 655,974	△ 5.1
滞納繰越分	184,483		55,709		128,774	231.2
国有資産等交付金	21,453		21,615		△ 162	△ 0.7
現年課税分	21,453		21,615		△ 162	△ 0.7
軽自動車税	568,875	2.2	562,748	2.0	6,127	1.1
環境性能割	21,490		21,299		191	0.9
現年課税分	21,490		21,299		191	0.9
種別割	547,385		541,449		5,936	1.1
現年課税分	542,926		536,288		6,638	1.2
滞納繰越分	4,459		5,161		△ 702	△ 13.6
市たばこ税	923,246	3.6	896,933	3.2	26,313	2.9
現年課税分	923,246		896,933		26,313	2.9
入湯税	2,340	0.0	2,934	0.0	△ 594	△ 20.2
都市計画税	1,448,430	5.7	1,488,851	5.4	△ 40,421	△ 2.7
現年課税分	1,431,041		1,480,544		△ 49,503	△ 3.3
滞納繰越分	17,389		8,307		9,082	109.3
合計	25,525,354	100.0	27,661,801	100.0	△ 2,136,447	△ 7.7
現年課税分	25,193,736		27,488,360		△ 2,294,624	△ 8.3
滞納繰越分	331,618		173,441		158,177	91.2

1 市民税

個人市民税は、コロナ禍による経済活動の停滞に伴う給与等の減少を見込み、前年度比9.6%、9億3,186万5千円の減額、法人市民税は、コロナ禍による業績悪化及び税率改正による影響等を勘案し、前年度比33.7%、6億6,864万5千円の減額を見込み、全体では前年度比13.7%、16億51万円減の101億2,108万6千円を見込みました。

2 固定資産税

評価替えによる既存家屋の減価、コロナ禍対策としての家屋・償却資産の軽減措置等を見込み、全体では前年度比4.1%、527,362千円減の124億6,137万7千円を見込みました。

3 軽自動車税

登録台数は減少に転じているものの、税率区分の高い車両の増加などにより、前年度比1.1%、6,127万円増の5億6,887万5千円を見込みました。

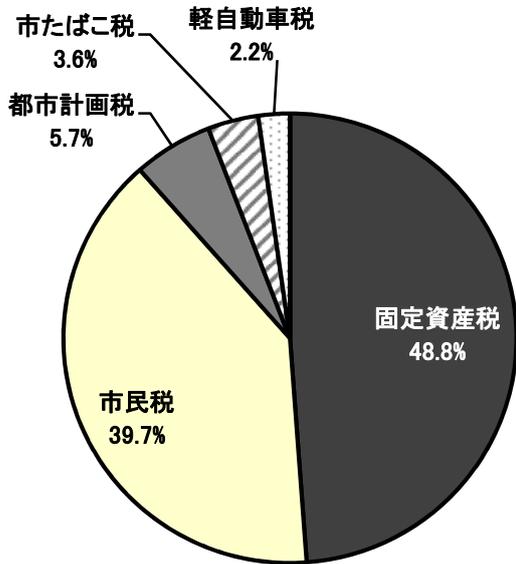
4 市たばこ税

消費実績を勘案し、前年度比2.9%、2,631万3千円増の9億2,324万6千円を見込みました。

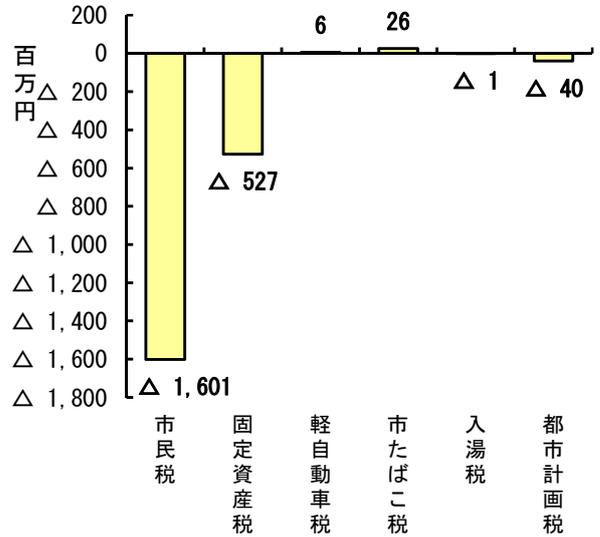
5 都市計画税

固定資産税同様に、評価替えによる既存家屋の減価、コロナ禍対策による家屋の軽減等を見込み、前年度比2.7%、4,042万1千円減の14億4,843万円を見込みました。

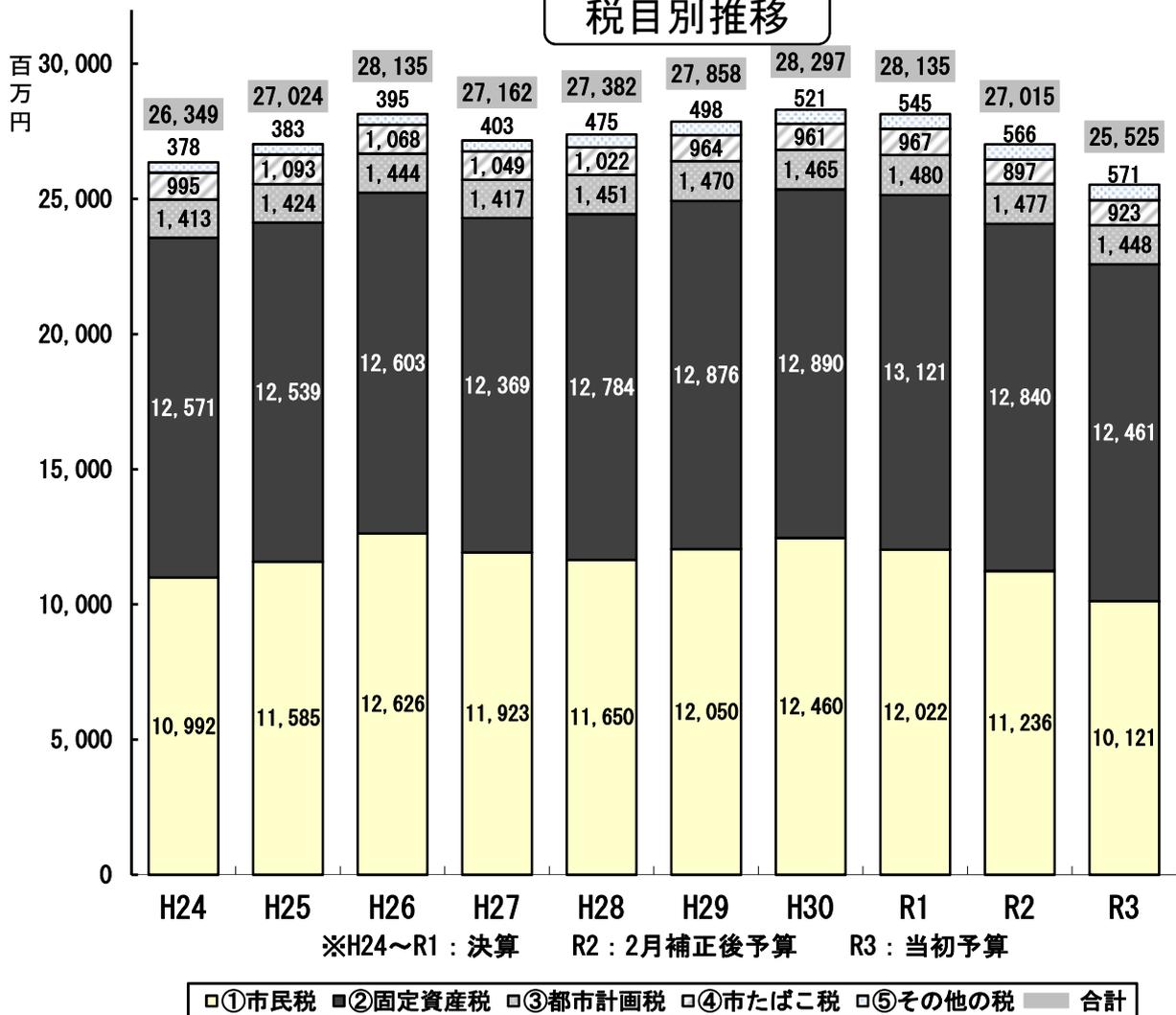
税目別構成



税目別対前年度増減額



税目別推移



④ その他の歳入の概要

1 譲与税・県税交付金

国の地方財政計画や令和元年度決算額、令和2年度の決算見込額などを勘案し、法人事業税交付金は前年度比 7,000 万円増の4億円、地方消費税交付金は前年度比3億円減の 39 億円を見込みました。

2 地方特例交付金

地方特例交付金は、中小企業等の固定資産税等の軽減措置に伴う減収分を補てんするための「新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金」が皆増となったことにより、前年度比5億 500 万円増の7億 4,500 万円を見込みました。

3 地方交付税

普通交付税について、令和2年度で合併算定替が終了し、一本算定となるものの、市税収入等の減額に伴い財源不足額が増加すること、国の交付税総額が増加していることなどを勘案し、特別交付税と合わせ前年度比4億円増の 61 億円を見込みました。

4 分担金及び負担金

和口橋架け替えに係る歩道橋架橋事業負担金の皆減などにより、前年度比 2,806 万8千円減の3億 2,009 万1千円を見込みました。

5 使用料及び手数料

急患センター診療収入の減や豊田町駅駐車場使用料の皆減などにより、前年度比 2,143 万4千円減の7億 4,799 万9千円を見込みました。

6 国庫支出金

新磐田スマートIC設置推進事業や歩道橋架橋事業に係る社会資本整備総合交付金、ながふじ学府一体校の整備に係る学校施設整備費交付金の減額はあるものの、障害者自立支援給付費負担金、生活保護費負担金、子どものための教育・保育給付交付金などの増額により、前年度比1億 9,812 万9千円増の 79 億 3,075 万9千円を見込みました。

7 県支出金

地域産業立地事業費補助金の減や国勢調査委託金の皆減などはあるものの、介護サービス提供体制整備促進事業費補助金の皆増や子ども・子育て支援給付費負担金、障害者自立支援給付費負担金、静岡県知事選挙費委託金の増などにより、前年度比 4,270 万1千円増の 40 億 2,690 万2千円を見込みました。

8 財産収入

市有地の売却に係る土地売却収入の減により、前年度比 9,479 万6千円減の1億 4,934 万2千円を見込みました。

9 寄附金

ふるさと納税寄附金の増額やジュピロ磐田のJ1復帰と地域の元気づくり応援寄附金の皆増により、前年度比4億 4,637 万3千円増の9億 5,774 万1千円を見込みました。

10 繰入金

津波対策事業基金繰入金やしっぺいこども福祉基金繰入金の増、経済変動対策貸付資金利子補給事業基金繰入金の皆増はあるものの、財政調整基金繰入金及び公共施設整備基金繰入金が減となることにより、前年度比 10 億 9,373 万1千円減の 28 億 1,770 万2千円を見込みました。

11 諸収入

住宅建設資金協調融資制度貸付金元金収入の減や磐田新駅周辺造成工事委託受入金の皆減などにより、前年度比1億 3,502 万7千円減の 27 億 1,076 万円を見込みました。

12 市債

土木債の今之浦市有地等公園整備事業や教育債のながふじ学府一体校整備事業などの減額はあるものの、総務債の(仮称)磐田市文化会館の整備に係る文化振興施設整備事業などの増額により、総務債から教育債までの事業債合計は、前年度比6億 9,930 万円増の 61 億 8,360 万円を見込みました。

特例債である臨時財政対策債は、国の地方債計画で総額が大幅に増額になっていること等を勘案し、前年度比 16 億円増の 34 億円を見込みました。

市債全体では、前年度比 22 億 9,930 万円増の 95 億 8,360 万円となりました。

⑤ 目的別歳出の概要

1 議会費

議員報酬の増などにより、前年度比 1,269 万8千円増の3億 4,281 万9千円を計上しました。

2 総務費

職員退職手当や豊田支所等施設改修事業の減額などはあるものの、ふるさと納税推進事務などの増額や、(仮称)磐田市文化会館整備事業が大幅に増額となることから、前年度比 37 億 4,770 万2千円増の 126 億 6,897 万8千円を計上しました。

3 民生費

こども医療費助成事業や小規模保育等事業の減額などはあるものの、障害者福祉サービス事業、民間認可保育園施設等整備事業、生活保護法定援護事業の増額などにより、前年度比5億 3,472 万4千円増の 219 億 9,331 万8千円を計上しました。

4 衛生費

クリーンセンター周辺環境整備事業の減額などはあるものの、クリーンセンター施設管理事業の増額などにより、前年度比 6,803 万円増の 57 億 3,304 万1千円を計上しました。

5 労働費

勤労者協調融資事業の減額などにより、前年度比1億 1,880 万3千円減の 11 億 9,471 万円を計上しました。

6 農林水産業費

海岸堤防整備事業の増額などにより、前年度比1億 3,648 万7千円増の 21 億 6,221 万円を計上しました。

7 商工費

中小企業支援事業の増額などはあるものの、次世代型農水産業立地推進事業及び企業立地推進事業の減額などにより、前年度比4億 2,129 万円減の 10 億 9,271 万3千円を計上しました。

8 土木費

今之浦市有地等公園整備事業や新磐田スマートIC設置推進事業の減額、JR新駅設置事業や歩道橋架橋事業の皆減などにより、前年度比 15 億 1,400 万7千円減の 69 億 5,879 万5千円を計上しました。

9 消防費

常備消防車両維持管理事業や中東遠消防指令センター運営事業の増額などにより、前年度比 1,167 万6千円増の 23 億 7,948 万4千円を計上しました。

10 教育費

GIGAスクール構想推進事業(小・中学校)の皆増はあるものの、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業の減額などにより、前年度比 21 億 5,677 万2千円減の 69 億 5,676 万2千円を計上しました。

11 公債費

借り入れた市債の償還終了などにより、前年度比 9,380 万1千円減の 55 億 9,716 万5千円を計上しました。

市債の年度末残高見込みは、令和元年度末が 504 億 4,450 万円、令和2年度末が 539 億 8,780 万8千円、令和3年度末が 581 億 8,392 万2千円です。

12 予備費

近年の災害発生状況や執行実績を踏まえ、前年度比 335 万6千円増の1億円を計上しました。

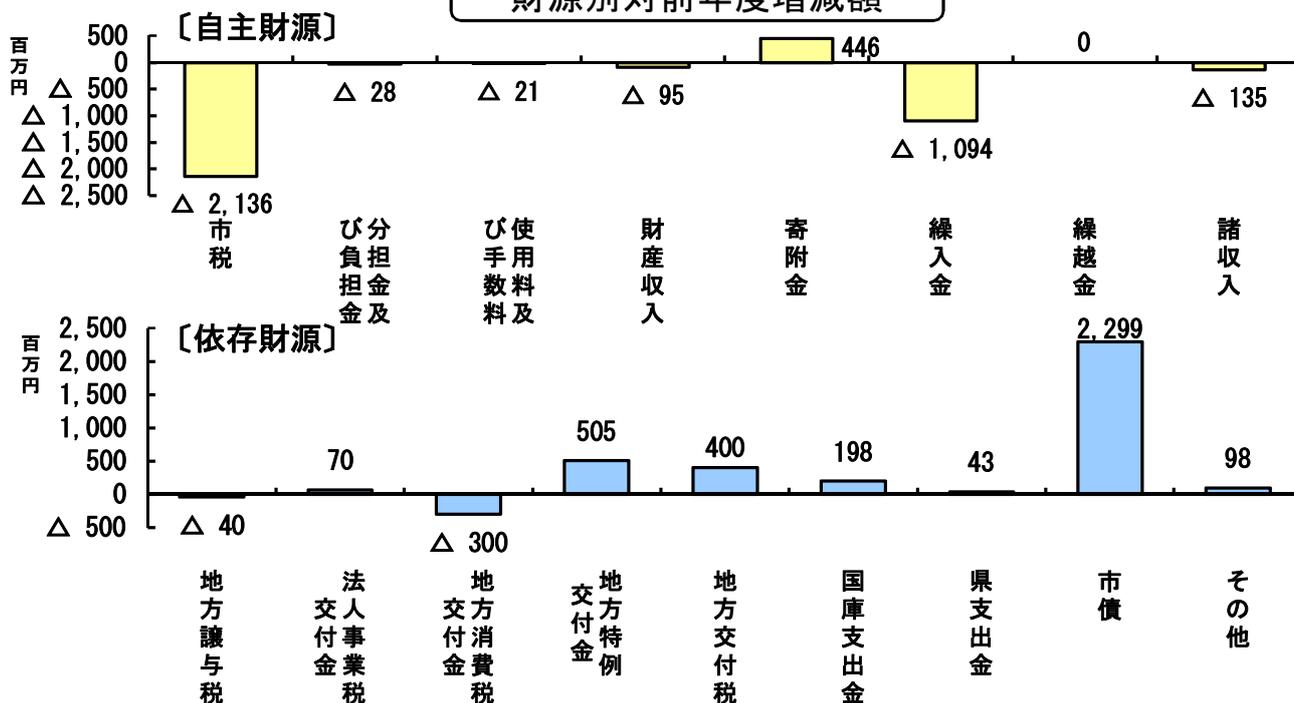
(2) 性質別予算の状況

① 歳入

(単位：千円、%)

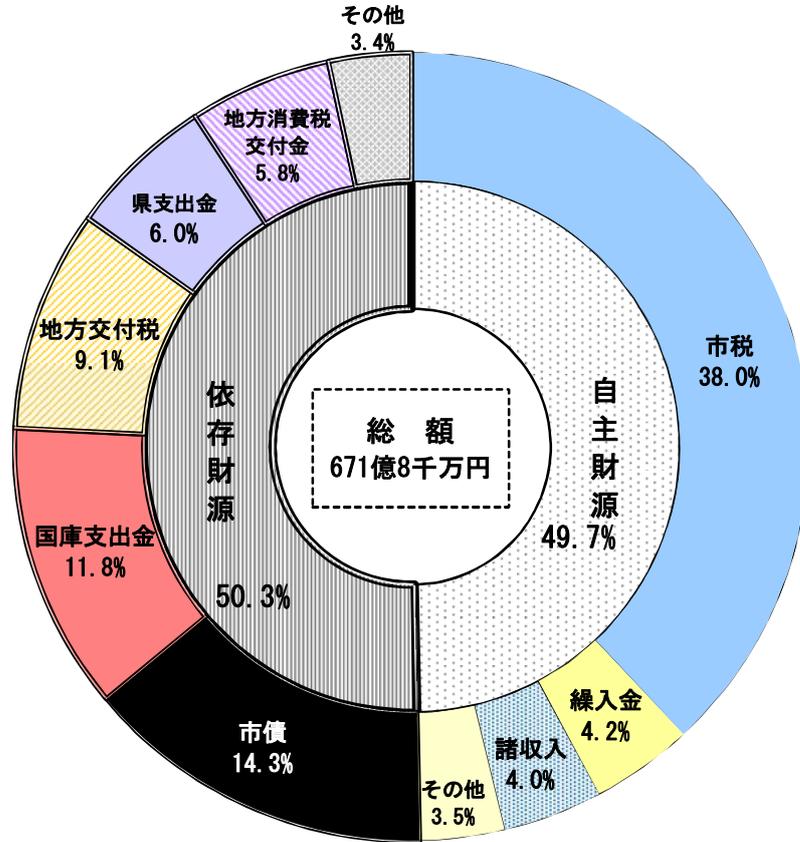
区 分	令和3年度		令和2年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額	A 構成比(%)	予算額	B 構成比(%)			
自主財源	市税	25,525,354	38.0	27,661,801	41.3	△ 2,136,447	△ 7.7
	分担金及び負担金	320,091	0.5	348,159	0.5	△ 28,068	△ 8.1
	使用料及び手数料	747,999	1.1	769,433	1.1	△ 21,434	△ 2.8
	財産収入	149,342	0.2	244,138	0.4	△ 94,796	△ 38.8
	寄附金	957,741	1.4	511,368	0.8	446,373	87.3
	繰入金	2,817,702	4.2	3,911,433	5.8	△ 1,093,731	△ 28.0
	繰越金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
	諸収入	2,710,760	4.0	2,845,787	4.2	△ 135,027	△ 4.7
	小 計	33,378,989	49.7	36,442,119	54.4	△ 3,063,130	△ 8.4
	依存財源	地方譲与税	686,750	1.0	726,750	1.1	△ 40,000
利子割交付金		21,000	0.0	20,000	0.0	1,000	5.0
配当割交付金		106,000	0.2	110,000	0.2	△ 4,000	△ 3.6
株式等譲渡所得割交付金		135,000	0.2	70,000	0.1	65,000	92.9
法人事業税交付金		400,000	0.6	330,000	0.5	70,000	21.2
地方消費税交付金		3,900,000	5.8	4,200,000	6.3	△ 300,000	△ 7.1
ゴルフ場利用税交付金		32,000	0.0	32,000	0.0	0	0.0
環境性能割交付金		94,000	0.1	60,000	0.1	34,000	56.7
地方特例交付金		745,000	1.1	240,000	0.4	505,000	210.4
地方交付税		6,100,000	9.1	5,700,000	8.5	400,000	7.0
交通安全対策特別交付金		40,000	0.1	38,000	0.1	2,000	5.3
国庫支出金		7,930,759	11.8	7,732,630	11.5	198,129	2.6
県支出金		4,026,902	6.0	3,984,201	5.9	42,701	1.1
市債		9,583,600	14.3	7,284,300	10.9	2,299,300	31.6
小 計		33,801,011	50.3	30,527,881	45.6	3,273,130	10.7
歳入合計	67,180,000	100.0	66,970,000	100.0	210,000	0.3	

財源別対前年度増減額



② 財源の構成比

自主財源・依存財源の内訳及び構成比



1 自主財源

ふるさと納税寄附金の増などはあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による個人市民税や法人市民税の減額など市税の減額、財政調整基金繰入金や公共施設整備基金繰入金の減額など繰入金の減額などにより、前年度比30億6,313万円減の333億7,898万9千円を見込みました。

2 依存財源

景気後退の影響による地方消費税交付金の減額などはあるものの、(仮称)磐田市文化会館の整備に係る市債の増額や「新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金」の皆増による地方特例交付金の増額、また、市税の減額に対応した地方交付税及び臨時財政対策債の増額などにより、前年度比32億7,313万円増の338億101万1千円を見込みました。

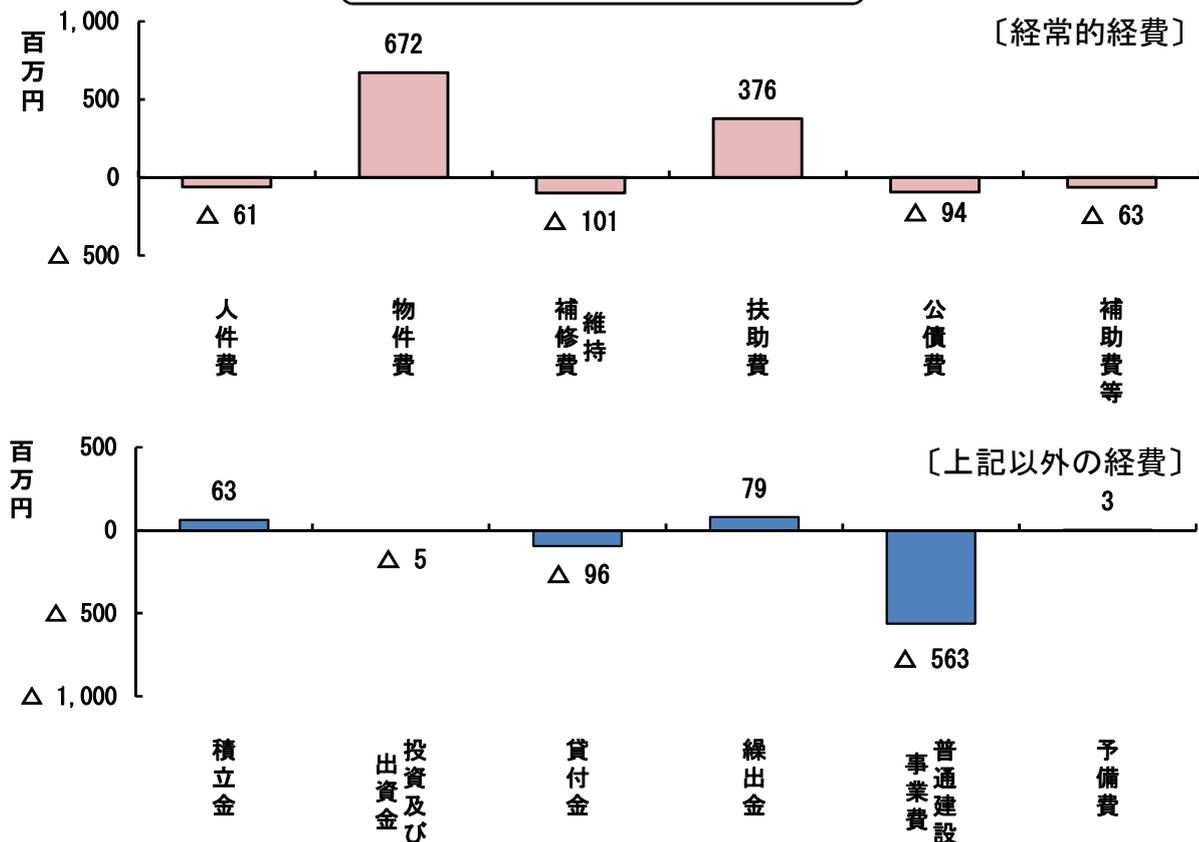
構成比は、自主財源は前年度比4.7ポイント減の49.7%、依存財源は50.3%となりました。

③ 歳出

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度		令和2年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
経常的経費	人件費	11,392,367	17.0	11,452,934	17.1	△ 60,567	△ 0.5
	物件費	9,884,414	14.7	9,212,642	13.8	671,772	7.3
	維持補修費	746,895	1.1	847,909	1.3	△ 101,014	△ 11.9
	扶助費	12,685,496	18.9	12,309,287	18.4	376,209	3.1
	公債費	5,597,165	8.3	5,690,966	8.5	△ 93,801	△ 1.6
	補助費等	7,136,357	10.6	7,199,047	10.7	△ 62,690	△ 0.9
	小 計	47,442,694	70.6	46,712,785	69.8	729,909	1.6
その他の経費	積立金	497,916	0.7	435,027	0.6	62,889	14.5
	投資及び出資金	1,582,451	2.4	1,587,889	2.4	△ 5,438	△ 0.3
	貸付金	1,101,633	1.6	1,197,918	1.8	△ 96,285	△ 8.0
	繰出金	5,261,207	7.8	5,182,561	7.7	78,646	1.5
	小 計	8,443,207	12.6	8,403,395	12.5	39,812	0.5
投資的経費	普通建設事業費	11,194,094	16.7	11,757,171	17.6	△ 563,077	△ 4.8
	災害復旧事業費	5	0.0	5	0.0	0	0.0
	小 計	11,194,099	16.7	11,757,176	17.6	△ 563,077	△ 4.8
予備費	100,000	0.1	96,644	0.1	3,356	3.5	
合 計	67,180,000	100.0	66,970,000	100.0	210,000	0.3	

性質別対前年度増減額



④ 性質別歳出の概要

1 人件費

職員退職手当の減額などにより、前年度比 6,056 万7千円減の 113 億 9,236 万7千円となりました。

2 物件費

ながふじ学府小中一体校への備品等購入費の皆減や小学校教科書改訂に伴う教師用教材等の購入費の減額などはあるものの、クリーンセンター施設管理委託料の増やGIGAスクール構想推進に伴う教育用機器リース料の皆増、(仮称)磐田市文化会館整備に伴う備品購入費の皆増などにより、前年比6億 7,177 万2千円増の 98 億 8,441 万4千円となりました。

3 維持補修費

体育施設や公園施設など、公共施設の改修・修繕に係る経費の減額により、前年度比1億 101 万4千円減の7億 4,689 万5千円となりました。

4 扶助費

こども医療費や児童手当の減額などはあるものの、障害者福祉サービスに係る介護給付費や岩田こども園民営化に伴う民間認可保育園等の施設型給付費の増、生活保護費の増額などにより、前年度比3億 7,620 万9千円増の 126 億 8,549 万6千円となりました。

5 補助費等

経済変動対策貸付資金利子補給金やふるさと寄附金返礼品の増額などはあるものの、産業立地促進事業費補助金、児童福祉施設整備費補助金や公共下水道事業負担金などの減額により、前年度比 6,269 万円減の 71 億 3,635 万7千円となりました。

6 積立金

公共施設整備基金積立金の減額などはあるものの、ふるさと納税寄附金収入見込みの増に伴うしゅぺいこども福祉基金積立金、津波対策事業基金積立金の増額などにより、前年度比 6,288 万9千円増の4億 9,791 万6千円となりました。

7 投資及び出資金

農業集落排水事業出資金の減額などにより、前年度比 543 万8千円減の 15 億 8,245 万1千円となりました。

8 貸付金

勤労者協調融資事業による住宅建設資金協調融資制度貸付金の減額により、前年度比9,628万5千円減の11億163万3千円となりました。

9 繰出金

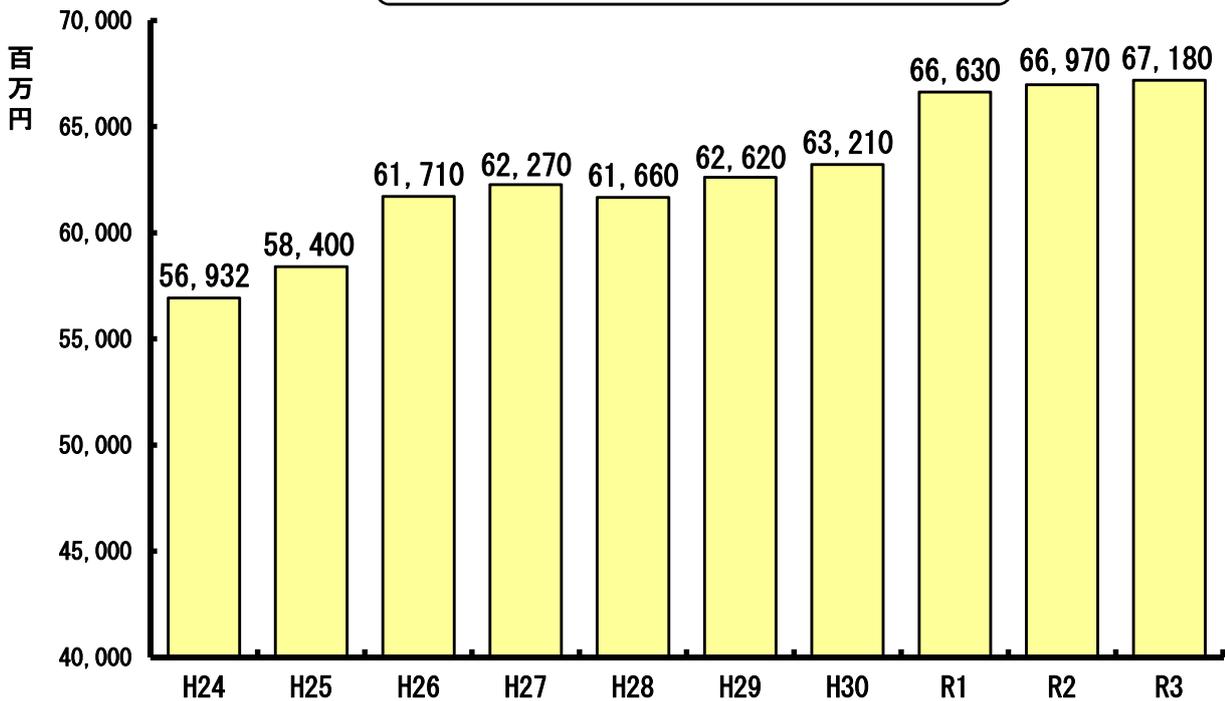
国民健康保険事業特別会計繰出金の減額はあるものの、後期高齢者医療広域連合負担金や介護保険事業特別会計繰出金の増額などにより、前年度比7,864万6千円増の52億6,120万7千円となりました。

10 普通建設事業費

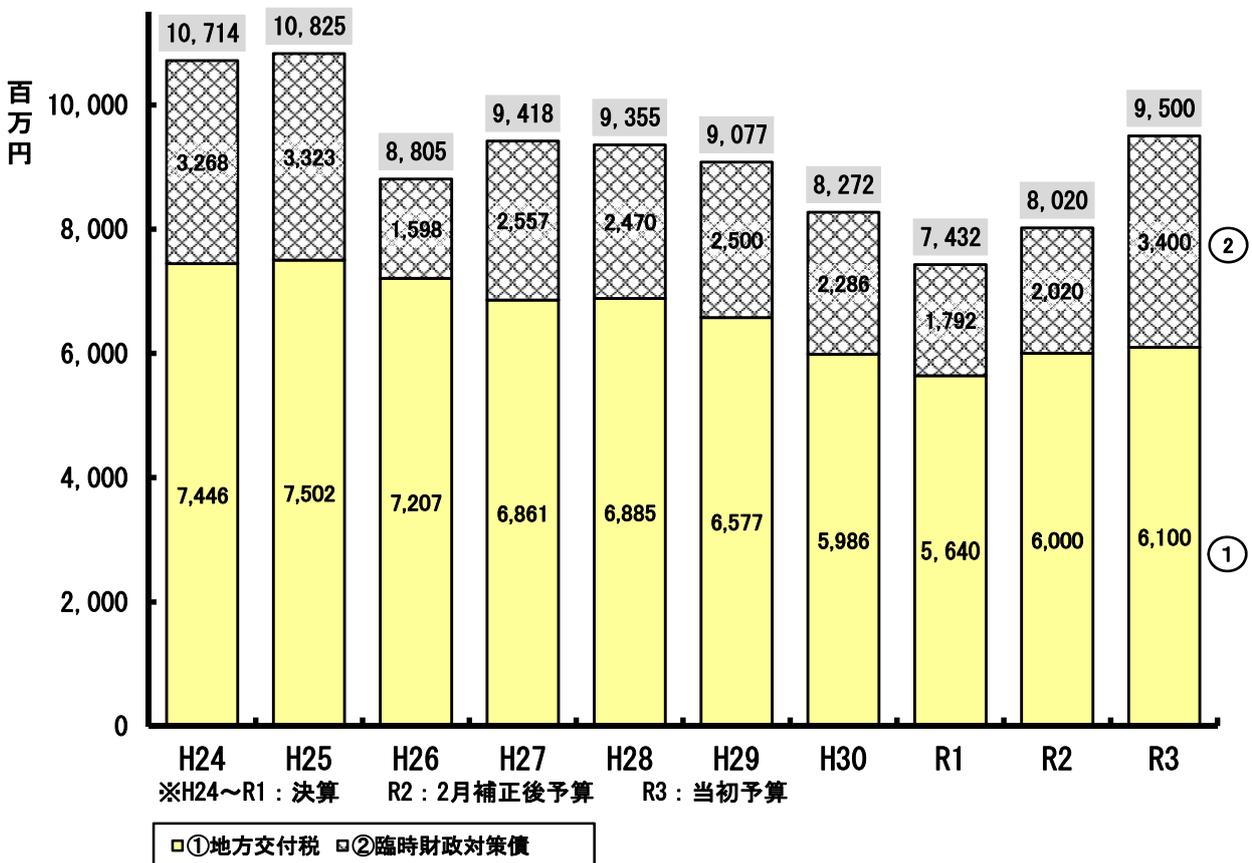
(仮称)磐田市文化会館建設工事や海岸堤防整備工事の増額などはあるものの、ながふじ学府小中一体校建設工事や今之浦市有地等公園整備工事の減額などにより、前年度比5億6,307万7千円減の111億9,409万4千円となりました。

(3) 一般会計予算額等の推移

一般会計当初予算額の推移

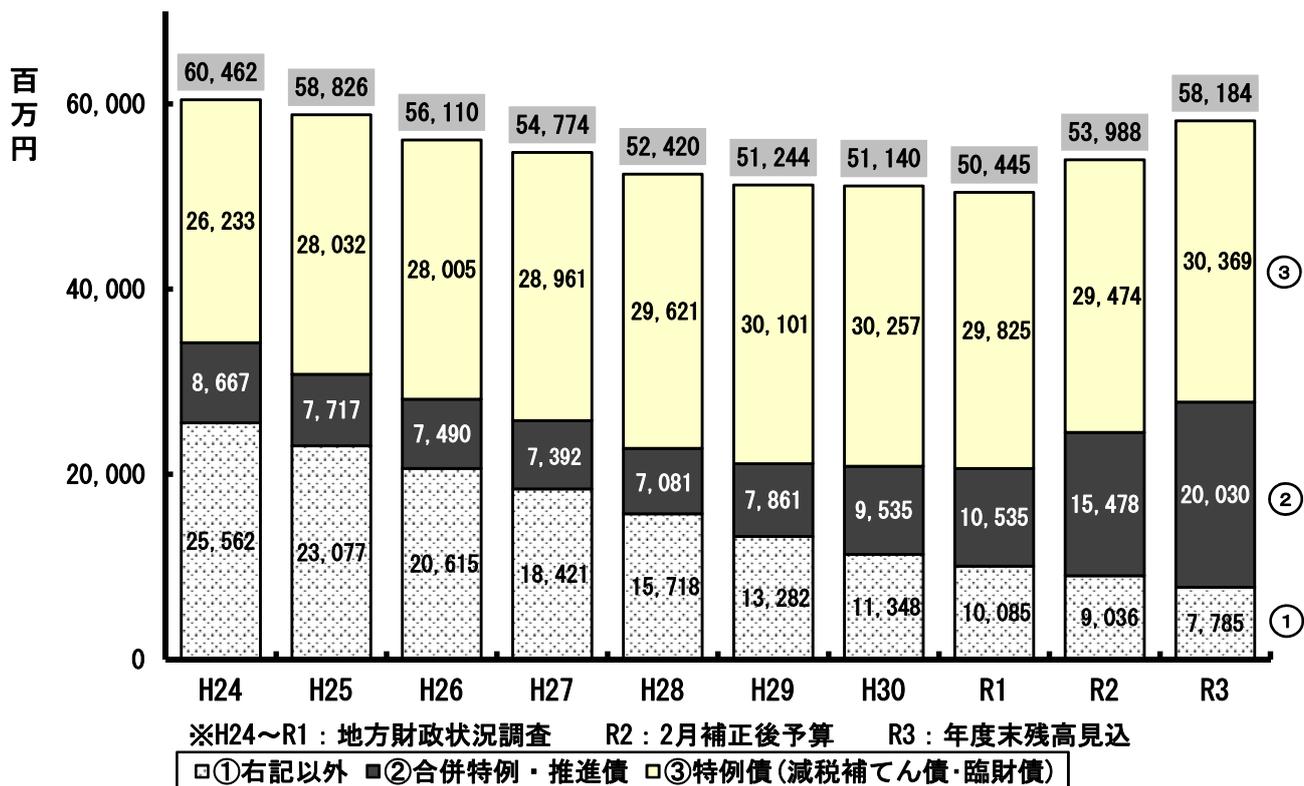


地方交付税・臨財債の推移

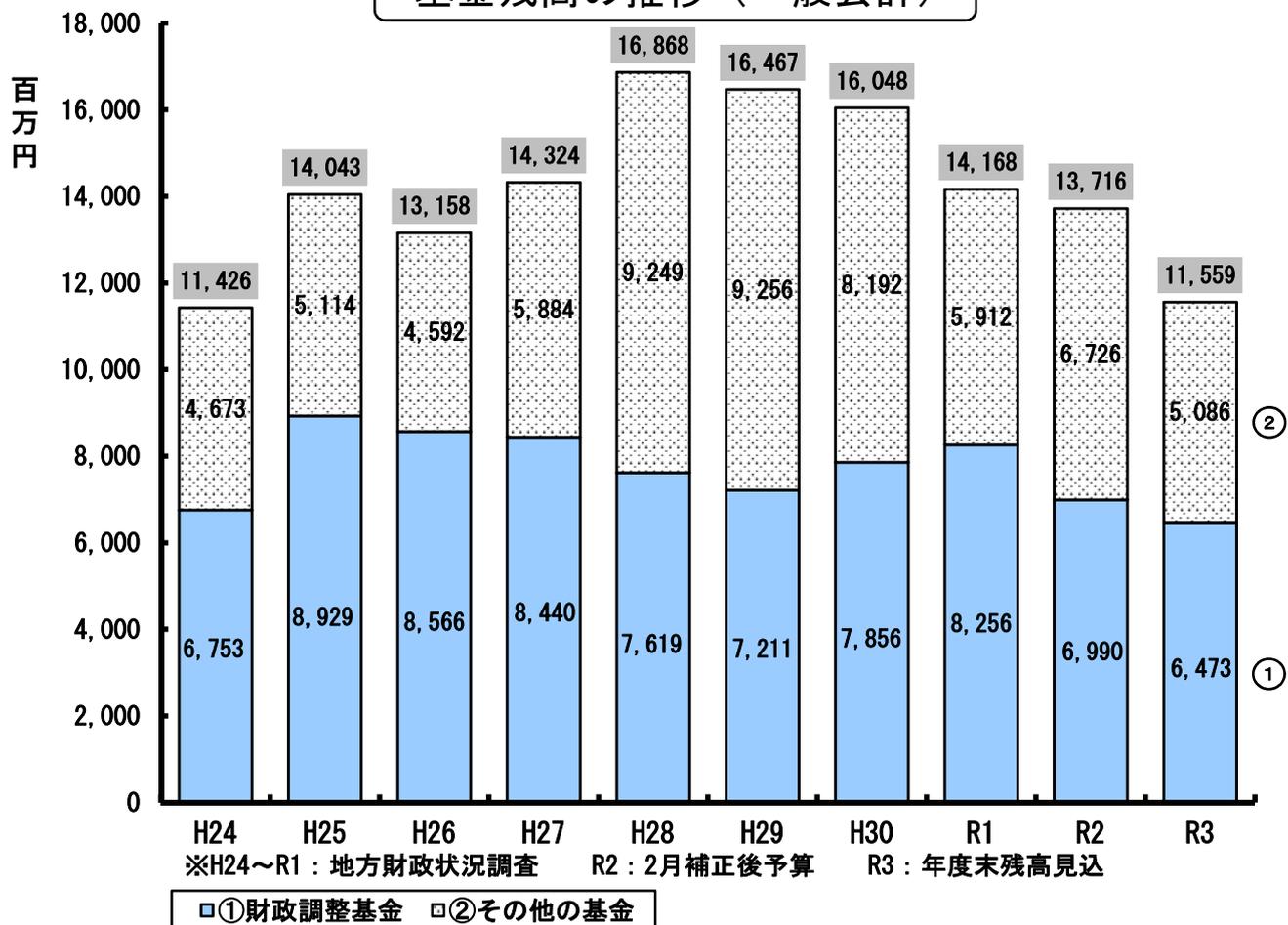


(4) 市債・基金残高の推移

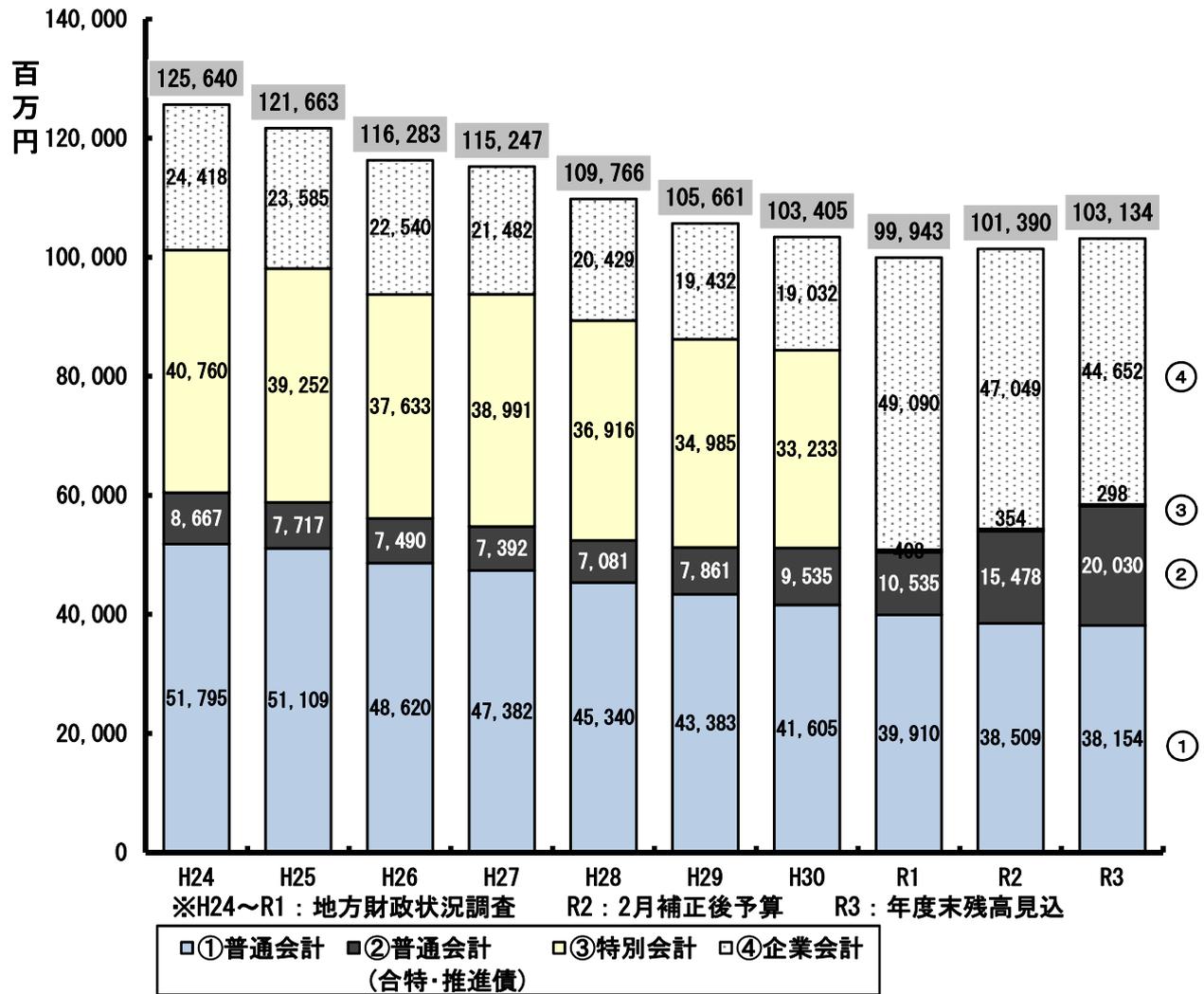
市債残高の推移(一般会計)



基金残高の推移(一般会計)



市債残高の推移(全会計)



※令和元年度より農業集落排水事業及び公共下水道事業が特別会計から企業会計へ移行したことから、同会計の市債区分を変更しています。

3. その他の会計の概要

(1) 特別会計

① 駐車場事業特別会計

リベール磐田市営駐車場の管理運営経費及び、借入金に対する元利償還金を計上しました。

(単位：千円)

R 3 年度予算額	R 2 年度予算額	増減額	増減率(%)
82,383	81,625	758	0.9

② 国民健康保険事業特別会計

保険給付費、国民健康保険事業費納付金や保健事業費などの必要な経費を計上しました。主な財源は、保険税、県からの交付金や一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 3 年度予算額	R 2 年度予算額	増減額	増減率(%)
16,885,601	16,682,853	202,748	1.2

③ 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業の円滑な運営のため、広域連合納付金等の必要な経費を計上しました。主な財源は、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 3 年度予算額	R 2 年度予算額	増減額	増減率(%)
2,002,720	1,962,967	39,753	2.0

④ 介護保険事業特別会計

介護保険事業計画に基づき、在宅及び施設における介護サービスの充実に伴う介護給付費等を計上しました。主な財源は、保険料、国・県・支払基金などからの負担金・交付金や一般会計からの繰入金です。

(単位：千円)

R 3 年度予算額	R 2 年度予算額	増減額	増減率(%)
13,399,340	13,012,358	386,982	3.0

⑤～⑧までの財産区特別会計は、財産区の管理運営に要する経費を計上したもので、主な内容は、財産区管理会の運営及び区有林の維持管理に要する経費です。

⑤ 広瀬財産区特別会計

(単位：千円)

R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
198	208	△ 10	△ 4.8

⑥ 岩室財産区特別会計

(単位：千円)

R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
77	74	3	4.1

⑦ 虫生財産区特別会計

(単位：千円)

R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
204	91	113	124.2

⑧ 万瀬財産区特別会計

(単位：千円)

R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
457	482	△ 25	△ 5.2

(2) 企業会計

①水道事業会計

水道事業の業務予定量としては、給水戸数64,010戸、年間総給水量21,346,660^m、一日平均給水量58,484^mを見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	3,001,896	3,019,866	△ 17,970	△ 0.6
	支出	2,711,174	2,743,260	△ 32,086	△ 1.2
資本	収入	624,365	627,480	△ 3,115	△ 0.5
	支出	1,880,735	1,910,550	△ 29,815	△ 1.6

②下水道事業会計

下水道事業の業務予定量としては、排水区域面積3,424ヘクタール、年間総処理水量15,760,000^m、一日平均処理水量43,178^mを見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	6,662,646	6,807,592	△ 144,946	△ 2.1
	支出	6,098,426	6,201,178	△ 102,752	△ 1.7
資本	収入	1,567,824	1,976,058	△ 408,234	△ 20.7
	支出	3,741,063	4,200,380	△ 459,317	△ 10.9

③病院事業会計

病院事業の業務予定量としては、入院患者数1日平均450人、年間164,250人、外来患者数1日平均1,200人、年間290,400人を見込みました。

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

(単位：千円)

		R 3年度予算額	R 2年度予算額	増減額	増減率(%)
収益	収入	18,220,698	17,858,727	361,971	2.0
	支出	18,688,386	18,433,753	254,633	1.4
資本	収入	2,442,569	2,438,895	3,674	0.2
	支出	3,298,505	3,270,526	27,979	0.9

＜参考資料＞

令和3年度 予算編成の基本方針

1 基本目標

「より暮らしやすい磐田市へ！市民第一で、さらに挑戦する磐田」

2 市政の重点目標

○ 総合力ナンバーワンを目指したまちづくり

まちづくりは人づくり、地域づくりの考えのもと、市民の生活に密着した取り組みを進め、全体のバランスのとれた、「総合力ナンバーワンのまち」を目指す。

○ 持続可能な行財政基盤の確立

人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響など、急激な社会経済情勢の変化にも対応できる行政の体質、組織のあり方、財政の仕組みを構築する。

○ 将来を見据えた成長・発展の基盤づくり

次の時代へ引き継ぐための成長戦略、将来の発展につながる取り組みを一つひとつ着実に実施する。

3 優先施策

① 子育て支援・教育の充実

未来を担う子どもたちが優しくたくましく成長するよう、妊娠から出産、子育てまで継続した子育て支援の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して、子どもたちを守り育てるための教育施策を推進する。

② 市民生活の安全・安心の確保

自助・共助・公助の考え方のもと、地震や豪雨等、頻発する自然災害に対する防災・減災対策を進めるとともに、消防・救急体制の充実、防犯、交通安全対策を推進する。

③ 地域づくりの推進と福祉の充実

交流センターを拠点とした地域づくりやスポーツ・歴史・文化に親しむことができる環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で健康に安心して暮らせるように、福祉サービスや地域医療体制の充実を図り、地域で支え合う体制づくりを進める。

④ 産業の育成と都市基盤の整備

既存産業の活性化や創業・新産業の創出などによる雇用の確保とともに、生活基盤や道路・公共交通などのネットワークの整備を進める。